

陰陽五行論壇Contents

六十花甲子(辛)

六十花甲子

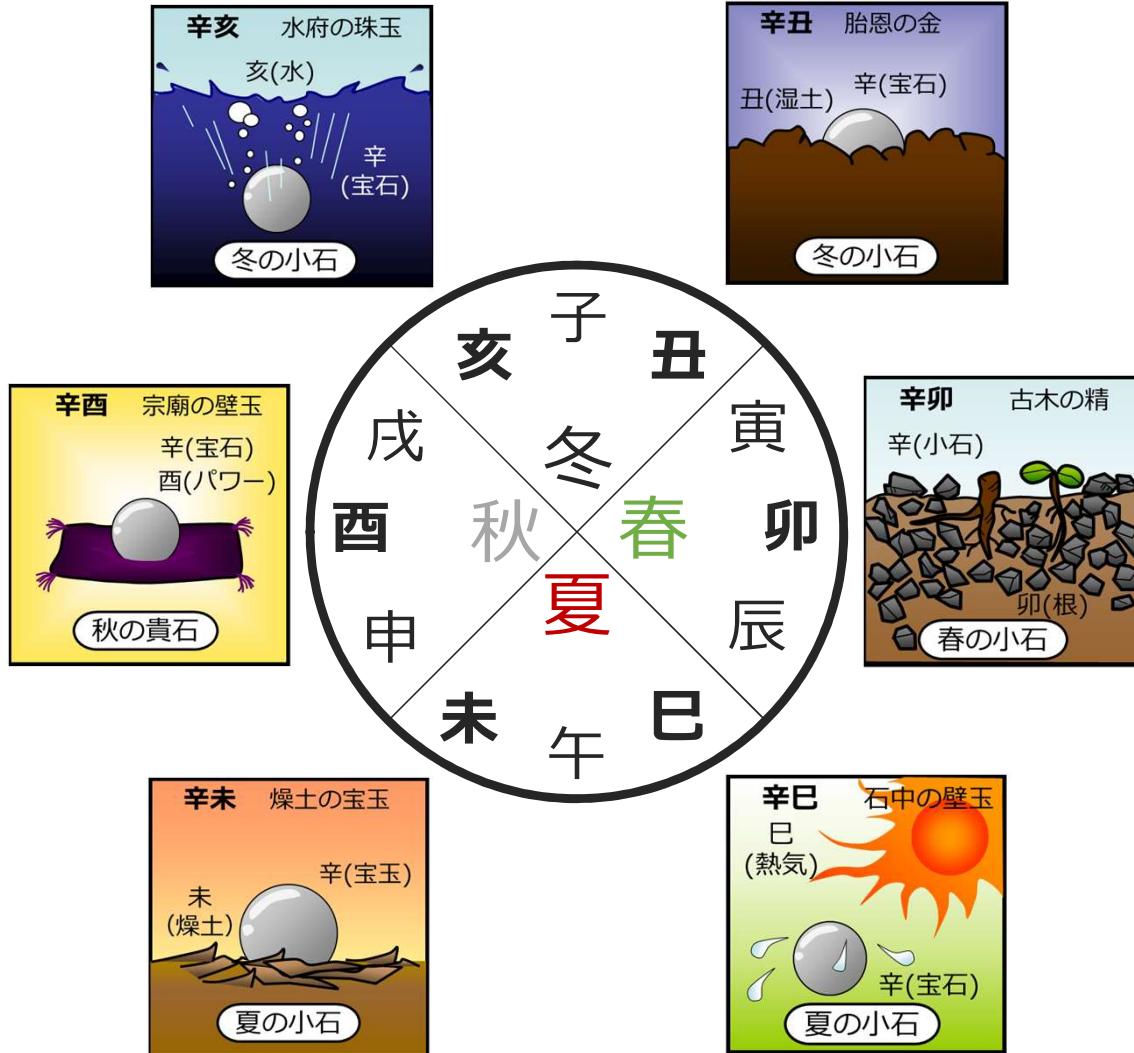
辛→牽牛星の特質(名誉名声、責任感)

器は柔銳(堅実、自尊心、特別意識)

- 辛は貴重品
 - ↓
宝石(自分が主役。特別意識を持っている)
- 攻撃本能だが脆い側面も有している。
- いつも手を掛けないと、美しさを保っていられない。

辛の種類

同じ辛でも組み合わさる地支によって特徴が異なる。



No.	名称	別名
8	辛未	燥土の宝玉
18	辛巳	石中の壁玉
28	辛卯	古木の精
38	辛丑	胎恩の金
48	辛亥	水府の珠玉
58	辛酉	宗廟の壁玉

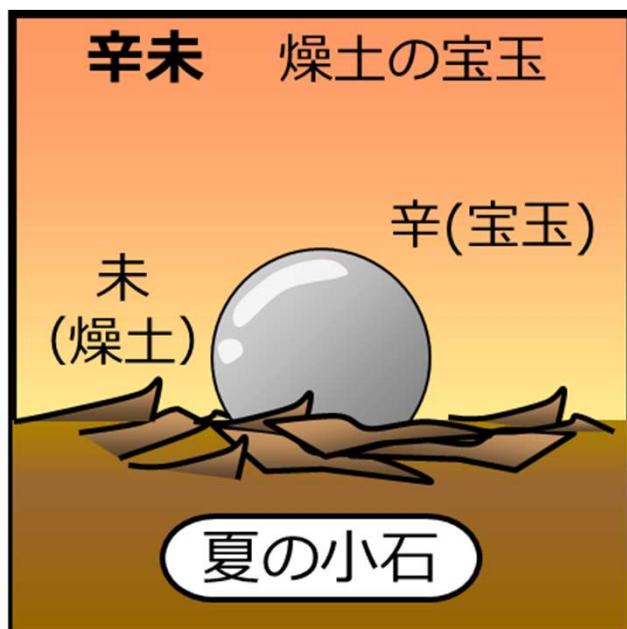
辛未～燥土の宝玉

辛 金 未 土 → 天堂星(8) → 温順、老成の風格(大人びている)

丁 火 → 車騎星

乙 木 → 祿存星

己 土 → 龍高星



ろうせい 老星

一生人の世話を引き受け、面倒を見て暮らす人。夏玉とも云い、自尊心が強いがそれが内に籠り、時の流れに順応していく。人を観察する能力に優れ、結果的に敵の少ない人生となる。

辛未～燥土の宝玉

- 辛未日柱は、座下が燥土(乾燥した土)なので土性が金性を生じ難い。宝玉が土にあってはこれを洗わなければ、輝きが放てない。
従って癸・壬の陶洗※の存在が必要。

※ 陶洗(とうせん)とは宝石や貴金属を磨き洗うこと。
乾いた土を洗い流し本質を磨く。

辛未日柱に限り、水性が功名を得る。
→壬・癸の存在が名誉・名声を支配する要素となる。

辛 + 壬 = 調舒星
辛 + 癸 = 鳳閣星

辛未にとって鳳閣星・調舒星が
本来の牽牛星(名誉・名声)の役目を果たす。

また、辛未日柱は常に真水(癸)で磨き輝かすることで価値ある存在となる。

具体的な行動として、話をする、遊びを人生の中に取り入れる(鳳閣星)

辛未～燥土の宝玉

- 座下の未を冲で壊す丑の存在は有り難い。
- また丑・辰の湿土もあり難い。

【例】

辛 癸 壬
未 丑 辰
（冲）

未一丑の冲で燥土を壊し、湿土の辰
他に癸・壬で辛の埃を洗い流す。

土の種類と特徴

土	季節	月	二十八元			湿/燥	冷/暖
			初元	中元	本元		
丑	冬	1月	癸	辛	己	湿土	冷土
辰	春	4月	乙	癸	戊	湿土	暖土
未	夏	7月	丁	乙	己	燥土	暖土
戌	秋	10月	辛	丁	戊	燥土	冷土

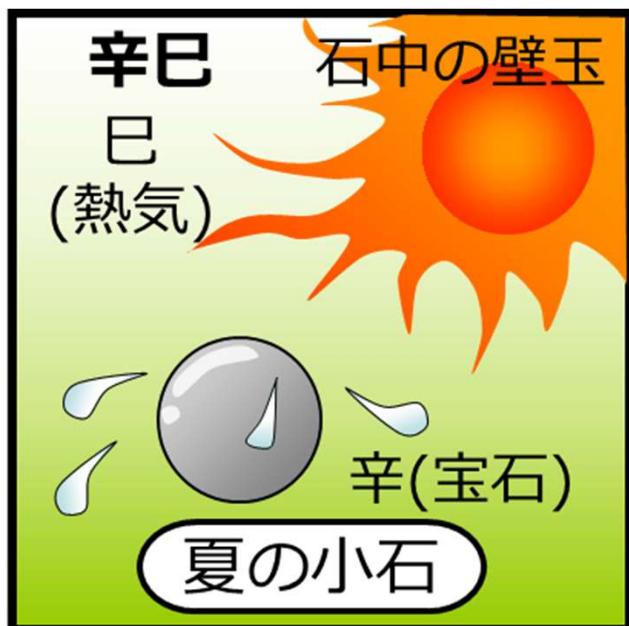


辛巳～石中の壁玉

辛 金
巳 火

戊 土 →玉堂星
庚 金 →石門星
丙 火 →牽牛星

天極星(2) →企画者・参謀の役割



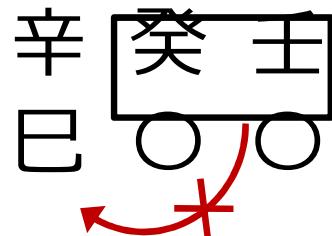
貴座

貴に座する。品格・気位の高い人。
南方の宝玉(庶民性の中の宝)。
上品な事や上品なムードを好み
何かを楽しむ気質を持つ。
学芸に長じ、企画力が高い。

辛巳～石中の壁玉

- 自らは死地(天極)に座し、壬・癸で洗われる事で自身の光を發揮する。

【例】



水の存在が巳の火性を剋してくれる。
自身の存在価値を世に出すことができる。

辛巳日柱にとって、他に壬・癸の透干があれば
「雨後吐彩(うごとさい)」(主に癸の場合)と云い
若年期にどの様な苦労をしても、後年に必ず
大成する人となる。

辛巳～石中の壁玉

- 亥の冲动を吉とし、亥水は一つの神の役目でもある(辛巳にとって身を保つ)。学芸に長じ、学者・芸術家で大成する。組織の中では、企画力(玉堂星)に優れた人物となる。

【例】

辛 癸 壬
巳 亥 ○
 (　)
 冲

現実社会の中であれば、企画室や
コンサルティング業務など
知的産業に属する事で成功。

- 辛巳日柱は、「白蠍(はくろう)の金」とも云い見かけが弱々しく見える人が多く、体力を使う仕事には向かない。

辛巳～石中の壁玉

- 六十干支中、最も接し難い人。
周りの人は貴重品として接してあげること。
学問をしっかりと身に付けて育てるのが良い。

辛巳
金火

最弱の辛の立場(常に剋されている)。
土があると生じられ強くなるが
多すぎると埋没する恐れあり。
そのため、水と火のバランスが大切。

- * さげすみの花嫁
嫁ぎ先からさげすまされる、結婚に歪みが出る。
- * 九流の術士
占術・霊学・哲学を得意とする修行者。

辛卯～古木の精

辛 金 卯 木 → 天馳星(1)
卯 木 → 祿存星



春の宝石

一流品好み。一流品を身に着けるが
バランスが取れていない。六親に
頼ることが出来ない、自立創家の
干支。誰にも頼らず泥土の中より
自分一代で立ち上がる干支。

辛卯～古木の精

- この干支のみ、自立創家の干支と見る。

辛卯は午未天中殺ではあるが、初代運とみなす。一代目の干支と定めてあり、誰にも頼らず自分一代で立ち上がる干支。

六親には頼れない。

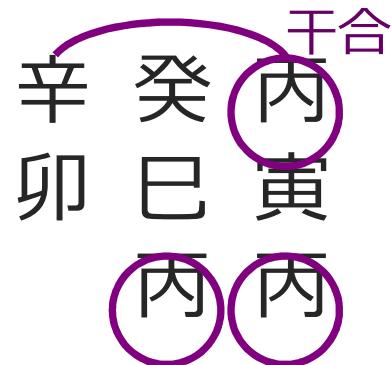
- 辛(小刀)が座下から伸びてくる卯(草木の根)を切り配偶者剋となる。

女性の場合、結婚後夫の運の伸びを止める働きをする。

辛卯～古木の精

- 一代目の人であれば、女難の相があっても成功するが、子供の代で甚だしく家系の乱れとなる。

【例】



配偶者多過
(女難の相)

辛丑～胎恩の金

辛 金 → 天印星(6)
丑 土
癸 水 → 鳳閣星
辛 金 → 貫索星
己 土 → 龍高星



いんでん **陰田**

頭が良い、聰明、知恵者。
だが、性格が暗い人。
冬の冷たい湿った土の
上の宝玉の姿。

辛丑～胎恩の金

- 辛丑日柱で一人っ子の場合、本人の良い面が目立たなくなる。

丑(湿った土)に座しているので
凍土であれば、誰にも気付かれず存在するのみ。
ぬかるみであれば泥土に埋没する恐れがある。

改良 兄弟のような親友を作ること

【例1】 辛 癸 癸
 丑 丑 亥

冬生まれの凍土
誰にも気付かれない存在

【例2】 辛 癸 壬
 丑 亥 申

座下の丑が泥濘となり
辛が埋没する恐れあり

辛丑～胎恩の金

- 冬又は春生まれは、壬・癸(調舒・鳳閣)が凶となる。

【例】 辛 癸 壬 寒い時期の水性は丑を
 丑 卯 ○ 凍土、又は泥沼化させる。

- 夏又は秋生まれは、壬・癸(調舒・鳳閣)が吉となる。

【例】 辛 壬 癸
 丑 午 ○

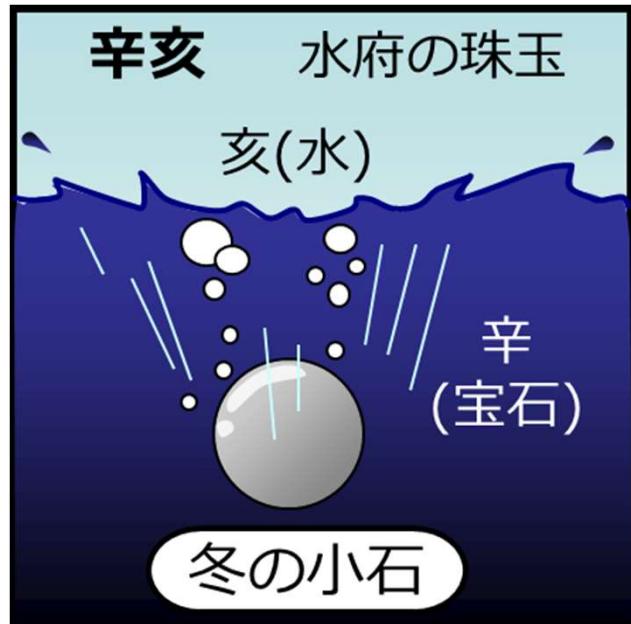
夏・秋生まれの場合、洩氣となる
孤独の星が表出することは喜び
となる。自然体に生きる星・孤独
の星が人生を安定させ、人生の

辛 → 壬 = 調舒星 (孤独の星)
辛 → 癸 = 凤閣星 (自然体に生きる星)

安定が結婚にも無理なく進み、家庭運にも恵まれ、結果的に
孤独の人生にはならない。例えば、家庭に恵まれいても、一人
で居るのが好きであったり、孤独を好む性格が出たとしても、
運命的な孤独にはならない。

辛亥～水府の珠玉 (しゅぎょく)

辛 金)
亥 水 → 天恍星(7)
甲 木 → 司禄星
壬 水 → 調舒星



こぎょくせき **湖玉石**

北方の水に座す宝玉。他人の力を借りて自分が伸びる人。人に認められないとダメな人、軍師・参謀の才能

辛亥～水府の珠玉(しゅぎょく)

- 寅の支合にあれば、亥水は変化し、金を拾い上げる
篩(さい)となる。

【例】

辛 ○ ○
亥 ○ 寅

支合(化木)

亥一寅の支合で亥水が化木となり
辛が水没しなくなる。

- 異常干支のひとつ。
異常干支は全て神の使いである。
- 辛亥は整形はNG。
肉体面で傷が残ってしまうから。

辛亥～水府の珠玉 (しゅぎょく)

- 辛亥日柱で秋月(酉月=月支元命・天禄星)生まれであれば、身強の人となり、特殊な攻撃性(辛の気)と保守的(天禄星)の心を所有し、人生の成功をつかむ。

辛 ○ ○
亥 酉 ○
＼＼→ 天禄星

職業で考えると医学・薬学の世界で成功を収める。

【例1】

辛 癸 壬 水多旺の宿命
亥 亥 子 辛が埋没する。
世に出ない
役に立たない

【例2】

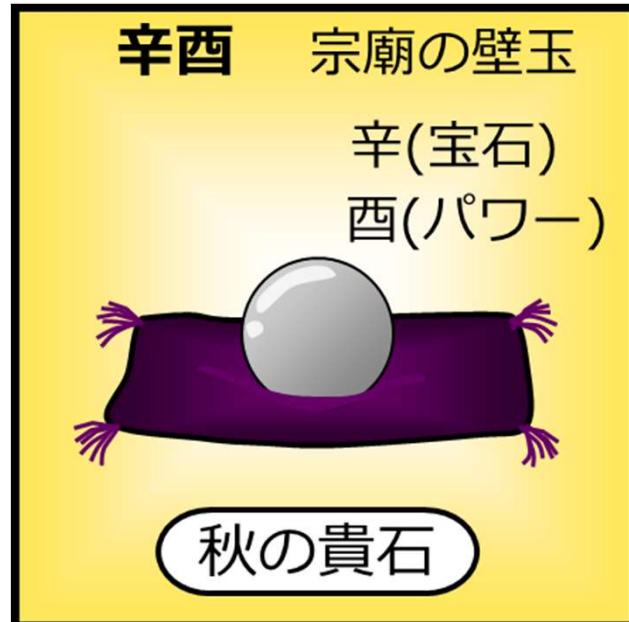
辛 壬 丁 千合
亥 子 巳 冲

水多旺の宿命
亥-巳の対冲と
壬-丁の干合
(火性が弱い)
辛の価値が出難い

辛酉～宗廟(そうびょう)の壁玉

辛 金) 天禄星(11)
酉 金
辛 金 → 貫索星

女性は、頭が良く、結婚を
しない限り運が良い。
男性は、前進力に欠ける。



はくせき **白石**

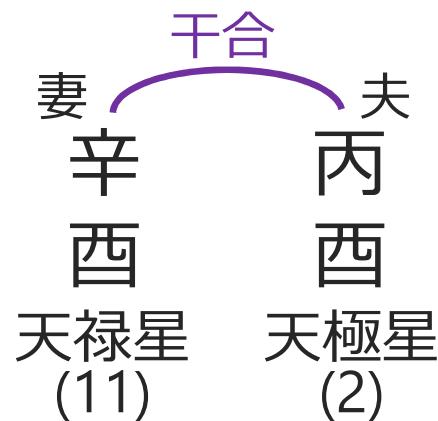
仏の石、物事が無になることを
意味する。秋玉とも云い、戦い・
争いの準備を意味する。経済と
科学のまとめ役を果たす。特殊な
才能を身につけて大成する。

辛酉～宗廟(そうびょう)の壁玉

- 特殊な才能を身につけて大成する者が多く
人間としての次元は最高。
- 壬の透干を吉とし、戊・己が透干しなければ※
才気に満ち、行動は正常となる。
※ 壬のみだと水で奇麗に洗われるが、土性が混じった
水では返って汚くなってしまう。
- 男女共容姿美しき者が多い。

辛酉～宗廟(そうびょう)の壁玉

- 特に女性は夫を軽蔑する傾向あり、お産の悪い※を見る。
※お産の悪いに関しては金性の共通一般論。



辛酉は、元来次元が高く天禄星である。力量が強く、批判力があり、自分の方が常に上にあると云う意識が出やすい。天極星の夫を自分より弱いと見てしまう。

- 男性は前進力に欠ける。
…辛酉 자체が美しい飾り物だから。
(大切に飾られている宝石。自分から動くことがない)